

平成20年10月9日

未来の京都創造研究会の「運営方針」(案)

【コア会議】

- 主体的、自立的に活動する研究会
 - ・ 行政が準備したシナリオ通りに議論が進む従来の審議会からの脱却
 - ・ 事務局は闊達な検討会の議論をサポート
 - 事務局は「コンパクトで分かりやすい」を心がけて資料を作成
 - ・ 一方で、現状分析や先進事例等に関するデータ蓄積及び更新を行う。
 - 研究会は原則公開で
 - 1回完結のテーマ
 - 第1回 次期基本計画の策定方向（計画の枠組み，策定手法）について
⇒ 「自治体計画行政の現状と課題」について議論
 - 第2回 京都市の未来像，課題について
⇒ 各委員の「未来像メモ（A4で1枚）」を基に議論
 - 第3回 計画の方向性，部会の運営方法
⇒ 「策定方針（案）」を策定，部会運営方法を決定
- ※ 各回終了後，意見交換の内容を事務局が取りまとめ，研究会委員に確認

【部会】

- これまでに無い新しい形の「部会」
 - ・ テーマに応じて市民や実務家等が，順次委員として参画するとともに，必要に応じて，調査研究等のプロジェクトを行い，政策課題や解決策の案の検討を深める。
 - ・ 大学生及びNPO等の幅広い市民に対し，運営上の協力を求める。